

2008年7月

AAAL 環境委員会 ミーティング開催

AAAL 情報委員会

長村 智砂

((株)カナック企画)



<開催概要>

1. 日時:2008年7月15日(水)15:00~17:00
2. 場所:APARA 事務所
3. 議題:・APARA 第22回環境タスク(6月5日)
議事内容の報告
・廃棄物処理工場・処理業者の現場見学
先の選定について
・4つのキーワードの中から商品と流通の
テーマについての討議

【APARA 第22回環境タスク(6月5日)議事内容の報告】

APARA 環境タスクにおいて6月5日に「鶴見製紙株式会社」と「越谷金属株式会社」の工場見学が行なわれ、その報告がなされました。

「鶴見製紙株式会社」は再生紙専門の製紙メーカー(トイレtpーパー製造)であり、廃棄物処理業ではなく製造業者となります。古紙の扱いはもっぱら再生に係わる廃棄物であり、業(廃棄物処理業)及び施設設置許可が不要とのことでした。

受入書類は一般書類と機密書類に大別され、それぞれ溶解炉にて溶解され、その様子はビデオで撮影され、委託元に証明資料として提供されます。

「越谷金属株式会社」は廃プラ、金属くずなどの収集・運搬及び中間処理業者で、見学した清久工場は廃OA機器の分解、廃プラの分別、再生プラスチック製品の製造をおこなっています。PCのHDデータ消去(物理破壊)も行なっています。OA機器の解体は一台一台手作業にて分解し、基板なども細かく分別され、廃プラの分別は識別マークを頼りに手作業にて選別など、リサイクル率は高いがリサイクルにかかるコストが高くなっているのが現状です。

【廃棄物処理工場及び処理業者の現場見学先の選定について】

東邦亜鉛株式会社契島製錬所とリビルドカリユースの工場の合計2箇所。

日程は第1候補8月28日~29日、第2候補9月4日~5日の日程にて東邦亜鉛株式会社に申請し、先方の回答によって決定することとなりました。

バッテリーは99%がリサイクル(鉛)されるとのこと。契島製錬所は瀬戸内海の島にあり、その島全部が工場になっています。

【4つのキーワードの中から商品と流通のテーマについての討議】

APARA 環境タスクにて検討し、商品群別に外装箱や商品パッケージの環境負荷低減取り組み指標として評価表を作成。商品パッケージより物流時の物(外装箱等)から取り組んだほうが良いのではないか。ここで何かをしなさいというのではなく販売する立場としての意見を団体の会員に配り認識していただくというのが AAAL の役目ではないか。この評価表を第 1 ステップとして環境委員会から団体へ送付する。このことにより行動を起こしていただいたメーカーに対して情報委員会から PR を行なう。

【その他】

今、環境 = 車ダメとなっている。ガソリンが高くなり、車が世の中で悪いものになっている。乗り方によっては環境にそれ程悪いものではない。環境がテーマなのであれば提案の仕方を考えたい。反論しないと益々車に乗らなくなってしまう。改善は必要だがビジネスに結びつかないと意味が無い。

環境委員会に出席してみたて…

環境委員の方々はとても意欲があり、前向きに活発な意見交換をされていました。廃棄物処理工場・処理業者の見学についてはとても興味深くお話を聞くことが出来ました。東邦亜鉛株式会社の契島製錬所については普通に生活している状況においては見る事ができない場所になりますので、是非この機会に多くの環境委員の方々に出席していただき見学していただきたいと思いました。

外装箱や商品パッケージについての分析も AAAL として提案し、認識を高めていくことはとても意義のあるものだと感じました。一般でも環境について注目されておりますので活動をしなければならない時期であると認識いたしました。

以上